光ガ丘中だより～光あふれて～

R８年度
１０月号

学習は環境から

校　長　　井　川　勝　博

ある中学生の実話です。

その中学生は部活動も勉強も中途半端。もちろん成績も下り坂。試合でもミスばかり。やることなすこと上手くいかん。イライラするし、むしゃくしゃするし。自分の部屋の机の上どころか、部屋全体が散らかりっぱなし。
そんな状態を見てあきれ返った母親が、怒るわけでもなく冷たく言った一言。
「この部屋の状態があんたの今の心を表してんねん。」

ときどき、教室での授業を見学に行かせてもらっています。いつも言うことですが、基本的に光ガ丘中学校の生徒の皆さんは真面目です。授業中もそうです。先生の話を聞くのもプリント学習するのも本当に真剣です。特に３年生のその姿は素晴らしいものがあります。もちろん、「受験」という言葉が重くのしかかっているからかもしれません。それでも、この光ガ丘中学校で２年間過ごしてきた成果の表れなのだと思います。

ただ、私の目線はその真面目な姿とは別のところにいっていることがあります。机の上、机のまわり、ときには教室後ろのロッカーであったりもします。その授業に必要ないものが机の上にあったり、机の上でなくても机のまわりに置いていたり。本当にその授業に集中できているのかなあ、と考えることもあります。例えば、授業が終わってから、次の授業のベル着までに机の上はどうなっているのでしょう。例えば、授業が始まる瞬間の黒板はきれいになっているのでしょうか。
こういったことだけでも、授業に対する集中の仕方は変わってきます。

学校はいろいろな学びをする場所です。それは教室の中だけではありません。校内のあらゆる場所に、学ぶための環境があります。光ガ丘中学校は、そういった「学ぶ環境」も大切にできる学校でありたいと考えています。

このことは、おそらく学校の授業だけでなく、家庭学習でも同じことが言えるのかもしれません。先ほどの中学生は、家庭学習をする前に、まず机の上を何ない状態にすることから始めました。問題集とむきあうなら、その問題集と筆記用具さえあればよい。どうしても必要となったときに、参考書や辞書を出せばよい。必要なくなれば片付ける。「勉強しよう」と机に向かうだけではなく、まず「学習できる環境を自分で作る」、それも学習の一つなのかもしれません。

『学習は環境から』
「学習」だけではありません。周りの環境があなたの心や行動を左右することもあるみたいです。何かうまいこといかんなあ、と感じるときは、周りを整えてみると何かが変わるかも・・・。